京城日報 夕刊 十二月十一日（日）
編輯兼發行人 兒島吉人 印刷人 小川三之助
京城府大廣寺町一丁目 電話 日報社 社會部 電話 發行部

ホーロー看板 木山標記本店 大阪住吉區アベノ新四 電話代表天王寺六五一

紙屑同樣となつた小國側の決議案

斯る空論は今後差控へやう

聯盟一般の空氣打診

【ゼネヴァ十日發電】十二日午後三時半より多分スイス代表モッタ大統領を議長として開かるべき十九國委員會が、如何なる結論をたどるかは議府側の焦點であるが、スペイン、アイルランド、スエーデン、チェッコ四國代表提出の決議案が松岡代表の撤回要求と其後の歴史的大演說の壓力に依り事實上死んだと同樣の紙屑となつて十九國委員會へ送り込まれたことは、換言すれば總會の大勢が滿洲國不承認の決議、並に日本を自衛權の範圍を越えて侵略せりと認めることは、此の際差控へなければならない事を認めたものと解釋し得べく、今後の議事は斯る空氣を出發點として進められるものと見られる九日後の大會は無條件に認めたに過ぎず、上記の如き空氣の下に彼が凡ゆる和協を盡くし協約案に努力すべきは一般に豫想される所である

デリーメールの堂々たる所論

支那支配下に置くは滿洲の無政府狀態再現

【ロンドン十日發電】本日のデリーメール紙は「英國に於ける平和論者は米を滿洲を支那の支配下に回復することを希望してゐるが、然しこれは明かに滿洲を再び無政府狀態に陷れ、徒らに戰爭を誘發せしめる結果となる」に過ぎない、英國民の大多數は日本が滿洲に於ける治安回復と、延て文明に多大の貢獻を爲すことを信じてゐる」と論じてゐる

滿洲代表へ激電殺到

【ゼネヴァ十日發電】顧介石外交總長の命に依り王寵惠、プロンソン・リー及びエドワーツの三氏より成る滿洲國代表團が正式成立して以來、滿洲國や日本當地から左の淨味の激電殺到が續出してゐる

無論左國盟に加入するが如き必要を認めず、唯事ら滿洲國の獨立たる存在と支那本土に將る國しき未來とをゼネヴァに期待

議會開會を前に政友の自重希望

藏相から鈴木總裁に

【東京電報】議會開會を前に政府も政友會も議會對策につき肚の探り合をしてゐるが、過般來岡田海相は藏相と會ひ右實見報來を聽取した上三時間餘に亘り懇談した、如上の結果は今後の政局の動向を示すに東大なる關係を有するものとして注目されてゐる

八田副總裁

拓相を訪問

【東京電報】入京中の八田總裁は拓相を官邸に訪問し、滿鐵の話題につきなほ三十分間に亘り懇談した、如上の結果は今後の政局の動向を示すに東大なる關係を有するものとして注目されてゐる

慶北の面費

打切せ

慶北の面費は面事業費に併し面費の徴收を激減を來してゐるが道當局では各面に對し早期徴收を勵行せしめて行き、極力面費の節約を勵行し、已むを得ざるときは、來年度の收入見込を減額せしめる樣になつてゐる、なほ面費の徴收は面費の徴收を多分徴收されるものとみられてゐる

我が代表部の合併協議會

委員會への對策決定

政府訓令は昨日到着

【ゼネヴァ十日發電】十九國委員會に對する我政府の訓令は十日正午過到着した、代表部は午後三時から代表部顧問と會奥會議の合併協議會を開き對策決定したが、右訓令には米國側政府との重大打合せをも考慮されてゐり理事會と總會の一機關を終つた松岡代表に廣汎な自由裁量を與へたものと見られる

十九國委員會明日午後開會

非公開會議に決定

【ゼネヴァ十日發電】十九ケ國委員會は十二日午後三時半（東京時間十二日午後十一時半）から非公開會議で開く事に正式に決定した

滿總長閣僚等を招待

八日午前四時半に內閣、拓務の兩相に滿洲國總長は午後六時より帝國ホテルに各閣僚顧問閣僚等を招いて晩餐會を催した（寫眞は向つて右より山岡萬之助、木戸幸一、一大臣、小山法相の諸氏）

劍橋短艇部の親リ氏逝去

【ロンドン十日發電】ケンブリッチ大學短艇部の選リッチャンド氏は本日逝去した、故人は皇室下も代つて同氏から遺族のローチを受けさせられた

森恪氏逝去

【東京電報】政友會顧問森恪氏は十月六日以來鎌倉の別荘に於いて療養につとめてゐたが、一時九日頃病狀を併發して危篤に陥り遂に十一日午前七時十五分サカエ夫人、令息、令孃親戚に惜しまれつゝ逝去した、享年五十歲、寫眞は生前の森恪氏

森家發表

【鎌倉十日發】森恪氏の遺骸は十日午後六時より鎌倉駅を發し、午後七時十五分全く絶息に陥り、その儀式は簡單に行はれ、遺骸は午後七時十五分サカエ夫人、令息、令孃親戚に惜しまれつゝ逝去した、享年五十歲、寫眞は生前の森恪氏

我黨の爲には勿論國家の損失

鈴木政友會總裁談

更に請訓決定

【ゼネヴァ十日發電】十二日の十九ケ國委員會の總會に臨むべき政府は訓令を請訓することに決した

失つて殘念

鴻山文相語る

【鎌倉十日發】鴻山文相は森恪氏の遺骸に接し直ちに鎌倉に赴いた、文相は森氏の無二の親友なるだけに涙を誘はれた、文相は「森君は公私の別を厳格に區別した點があつた、六十餘日の病床中たゞ一回も病氣に關しては語らず、口を噤んで出る言葉は常に政治上の問題で實にはたの見る目もいじらしい程であつた、森君は終始一貫意氣と力の男であつた

眞劍なる政治家

永井拓相語る

【東京電報】森恪氏の遺去に就き永井拓相は左の如く語つた「森君は信念の人であつた、國者が自己の信念のためには全く利害に關はれず、自己の生命その物さへ顧ず突進して行く、その意味は實に現代日本の政界で稀に見る眞劍な政治家として私は衷心から敬意を表してゐるが、現在の政治界が今日の日本には要求されてゐるのに、同君が斃れた事は實に一大痛恨である、然し同君の精神は例へ骨骸は滅ぶとも永遠に國民の間に生きて我々を激勵するものと信ずる」

蘇炳文引渡問題

ソ本國の肚は不可侵條約にあり

三國會議を締結委員會に

【新京十二日發電】蘇炳文の引渡問題に關するソヴィエト側の意向は本國政府の指令を待つて決定するとの事であるが、これを實質的には三國不可侵條約締結委員會たらしめ、領土不可侵を特に強調した約定を結ばんとの意圖をもつてゐると見る向がある

鮮米差別待遇反對の叫び

仁川商工會議所で民衆運動に着手す

仁川商工會議所では十日午後三時より山手町議事堂に各議員の出席を求め、政府の米穀統制案に對する鮮米差別待遇反對運動の爲め東上中であつた吉田會頭から、東京における運動の經過を詳細に報告した後、米の價格、公定、買上の三案は長崎其他の關係上實行不可能である旨は既知されたるも、目下米穀特別委員會に提出中である外鮮米に對する移出統制案が非常に厳重を加えるのみか、今日政府當局者が鮮米の實情を力說したれば、實現は近に濃厚

爲替・貿易管理案來議會に提出

大藏省で準備を進む

【東京電報】鮮米移出二十萬の大問題を試ふつゝある我財界は爲替管理の如きものの出現に對し、これが實現されることゝなり同時に釜山、馬山の同國所有地も買却される由で之は同國が時勢の趨勢に伴ひこれを所有する必要がなくなつた爲めであらうと見られてゐる

會議

一、爲替管理の強制的實施に關すること
一、國際收支のバランスを圖ること
一、通貨の收縮を制限すること
一、爲替管理を通じ輸入等を取締ること
一、金輸出を禁止すること

具體的理由

一、今日の爲替管理の強制的實施に關する根本的理由は、資本逃避防止法では不十分なること
一、無爲替輸入を取締る必要あること
一、明年度入超期に入つて原料の思惑輸入を取締る必要あること
一、インフレーションの結果物價騰貴を見越して思惑輸入に傾ふる必要あること
一、外債の五種類その他海外地方債元利支拂であるから、國際信用低落を上より見て緩和に爲替安定の必要あること

案の內容

一、一切の爲替取引を日本興行に集注すること
一、商品の輸出は必ず輸出手形を銀行に買ふこと、輸出手形は銀行の買ふものに賣却する事
一、商品の輸入は必要品に限り賣渡品の如きものの輸入は一切制限すること
一、外國證券、外債證券、外債手形輸入を取締ること
一、外國通貨、外債證券、外債手形の取引には銀行の許可を要すること
一、外債證券の先物取引を禁止すること
一、外國通貨、外債證券、外債手形輸入を禁ずること
一、外債證券、外債手形の所有者は政府の指定するものに賣却すること

米の招請應諾は

聯盟手續完了後

リ氏は今夕壽府到着

【ゼネヴァ十日發電】米國代表ヴィス氏は米日前十時半ロシヤタス通信社代表ロム氏に對し、「アメリカの聯盟招請應諾は聯盟自身の手續完了後である」と述べた

一方リトヴィノフ外務委員長は十一日夕ゼネヴァに到着するのでこゝに注目すべき會議がまもなく開かれる

軍縮一般委員會

十四日午前開催

【ゼネヴァ十日發電】軍縮會議は國際連盟と一般委員會の聯合會議のため、十二日、十三日開催される樣である、一般委員會の開催は十四日午前と正式決定した

山海關事件の交渉進まず

今後の成行注目さる

【天津十一日發電】山海關事件の解決交渉は其の後日支兩者の意見一致を見ず、支那側は我方の要求である起地鎮の支那側の防備撤去問題に關し、頑として應じず、其の上鎮への閉鎖に關し、頑として應じず、其の上鎮への閉鎖に關し、頑として應じず、其の上鎮への閉鎖に關し、頑として應じず、其の上鎮への閉鎖に關し、頑として應じず、

鮮內所有の土地賣却

ソ聯邦政府で

【平壤特電】ソビエト聯邦所有の鎮南浦の土地約千坪は近々賣却される由で、之は同國が時勢の趨勢に伴ひこれを所有する必要がなくなつた爲めであらうと見られてゐる

會議

一、爲替管理の強制的實施に關すること
一、國際收支のバランスを圖ること
一、通貨の收縮を制限すること
一、爲替管理を通じ輸入等を取締ること
一、金輸出を禁止すること

具體的理由

一、今日の爲替管理の強制的實施に關する根本的理由は、資本逃避防止法では不十分なること
一、無爲替輸入を取締る必要あること
一、明年度入超期に入つて原料の思惑輸入を取締る必要あること
一、インフレーションの結果物價騰貴を見越して思惑輸入に傾ふる必要あること
一、外債の五種類その他海外地方債元利支拂であるから、國際信用低落を上より見て緩和に爲替安定の必要あること

案の內容

一、一切の爲替取引を日本興行に集注すること
一、商品の輸出は必ず輸出手形を銀行に買ふこと、輸出手形は銀行の買ふものに賣却する事
一、商品の輸入は必要品に限り賣渡品の如きものの輸入は一切制限すること
一、外國證券、外債證券、外債手形輸入を取締ること
一、外國通貨、外債證券、外債手形の取引には銀行の許可を要すること
一、外債證券の先物取引を禁止すること
一、外國通貨、外債證券、外債手形輸入を禁ずること
一、外債證券、外債手形の所有者は政府の指定するものに賣却すること

井上幸吉大佐退城

【鎮海十一日發電】鎮海要塞司令部附井上幸吉大佐は海軍大佐で、昨日鎮海要塞を退城した、ホームには陸海軍關係者の見送りをはじめ、來賓等の見送りあり、午後七時十五分サカエ夫人、令息、令孃親戚に惜しまれつゝ逝去した（寫眞は今朝出發の井上大佐夫妻とお子さん達）

あすの天氣

十二月十日	晴	曇
十二月十一日	曇	曇

報

小雪後晴

十一月十日	七一五	四〇五
十二月十一日	七一五	四〇五

大附錄！ルナニメ爲テク白面 ルナト良善ハ行操・点滿ハ績成！ 大八ノ學習雜誌 新年號 インラバス

小學生諸君！ 全國書店雜誌店々頭ヲ見ヨ！ 大臣閣下ノ訓言ヤ學科ノ說明、面白イオ話、美シイ挿繪、大オマケノ附錄ハ七ツモ十モツク 買遲レテハ大變、スグ書店ヘ

幼稚園 子供園 一年生ノ學習雜誌 特價四十五錢 二年生ノ學習雜誌 特價四十五錢 三年生ノ學習雜誌 特價四十五錢 四年生ノ學習雜誌 特價四十五錢 五年生ノ學習雜誌 特價五十錢 六年生ノ學習雜誌 特價六十錢

全國小學校デモ御家庭デモコレコソ最ノ學習雜誌ト大評判デス

東京神田表神保町 振替東京四五一〇七 大八ノ學習雜誌ヲ揃ヘテ小學館ノ行商館ヲ通ジテ書店ヘ送ル 子供園・幼稚園・一年生・二年生・三年生・四年生・五年生・六年生ノ學習雜誌ハ小學館ノ行商館ヲ通ジテ書店ヘ送ル

蔚山沖の露艦
リウーリツク號引揚げ
最後の事業ぢやと
小泉元逓相が企つ
海底の一大寶庫

【東京電話】元逓相小泉又次郎氏が『俺の老後の力瘤』の事業ぢやと言ふて蔚山沖の露艦リウーリツク號の引揚げを企つた波瀾萬丈の物語

▽金儲け△　が近く始められる——といふのは三十年前の日露戰爭の當時、當時露國艦隊の一部として旅順を發し蔚山沖に沈没した露艦リウーリツク號を三十七年八月十四日我が上村艦隊が三十七年四月清水天を出て蔚山沖六十浬の海底に沈没してゐるこの蔚山から七、八浬の海底に沈んでゐるが、このリウーリツク號には露國皇帝の乘られた旗艦で艦内には相當のルーブル金貨もあり一大寶庫の觀があり、當時の露國民で現在上海にゐる海軍大將の管であるあの岡崎東輝氏が三十七年四月清水天を出て蔚山沖に沈没したこの蔚山から七、八浬の海底に沈んでゐるが、このリウーリツク號には露國皇帝の乘られた旗艦で艦内には相當のルーブル金貨もあり一大寶庫の觀があり、當時の露國民で現在上海にゐる海軍大將の管であるあの岡崎東輝氏が三十七年四月清水天を出て蔚山沖六十浬の海底に沈没してゐる

▽所在を△　確めた、この話を長崎警備隊士官用松太郎氏から小泉さんの許まで言つて來たものだ、で小泉さんが會長となつて眼鏡を進め五、六十萬の資金を集の管であるが岡崎東輝氏は五萬円を出資するであらう

無聊の慰安に音樂會
午後一時半から牛込區陸軍病院で慰安會を開催したが、出演者の同一員部隊長以下一同一士兵に慰問袋を贈るなどの美しい光景であつた

歌姫姜石燕孃
自宅で自殺を企つ
母親に戀を阻まれ
矢庭に曹達をのむ

流行歌の明日姫としてまた新興のスターとして數萬のファンを持つ

＝名花＝　が四囲の人のファンを持つ

行末を嘱んでゐるわれとわが身を惜んとして邪魔が邪魔されてゐる——

府内樂下河、姜石燕（本名は姜鍾子）調アリラン』その他朝鮮流行歌のレコードでお馴染みの多い有名な明日姫で殊に二ケ月間續出された新劇『明日姫』のスターとなつて大衆の人氣を背負つてメキ〳〵頭角を現してゐたが、十日午前一時半ごろ朝鮮料理で晩餐中の明日姫から自宅に歸つたのも非常に興奮の末、傷にあつた青酸曹達を矢庭に飲んで

＝自殺＝　を企て大騒ぎとなり直ちに鎮西三丁目の鎮來忠醫院に入院、手當の結果生命は取留めたが、ソーダ飲料の如くに吹大樣の胃やステーチに立つ望みをなくされ好の密に大きな誤解を與へてゐる

＝結成＝　された、今日まで國民精神總動員運動の中堅團體がなく不便を感じその努力を續々たるものであり、世界的大恐慌の聲に期せずして今秋明日姫流行歌の聲に期せずして今秋明日姫流行歌の聲に期せずして今秋明日姫流行

地方版

黄海道穀物協會
龍塘浦港竣工に刺戟されて
五郡の同業者結束して起ち
十日創立總會開く

【海州】黄海道穀物協會は十日午後二時海州邑事務所講堂で開催、海州、鳳山、信川、載寧、延白の五ヶ郡穀業者二十餘名の會員が會合、組織變更について熱心に研究し一致可決したことに月出たく黄海道穀物協會は勇しき産聲を上げ米の港大海州港建設に向つて一大飛躍を開始することとなつた、尚ほ會員は左の二十九名である

李鍾水、崔昌鎬、崔昌鎬、申化植、崔義淳、崔鴻澤、西宇成太郎、神原源太郎、清水寅、中土茂助、金泰國、朴泰鎬、金文堯、金泰仁、李泰樂、金孝鎬、朴宗元、楊在夏、金成鎬、閔泰吉、白寅天、李正廷、金相主、宋清月、金應天、大岡辰太、清水寅

羅南の墓地爭ひ
邑民は和解を希望
感情の縺れが原因の大部分
第二回の公判注目

【羅南】今夏以來羅南邑に頻つて成鏡北道羅南邑民と羅南邑の、火葬場および共同墓地敷地問題に端を發し、遂に訴訟にまで發展したが、本年十月十日、金判事宣會の下に道、鏡城郡および民間の三調停人が現地を鑑定し、調停を金部長のもとに來る十九日午前十時から第二回の鑑定が行はれることになつたが、今回の鑑定は一應における最終回と見られてゐり、判事から和解の慫慂もあるべく、色の調停如何によつては羅南邑民も進んで譲ふを欲せざる意思なることは、本紙既報の如くで十九日の鑑定はこの意味から注目されてゐる、なほこの紛爭事件は、飽くまで事大的な爲當事者に對する感情の縺れが大部分の原因をなし、鑑定人の鑑定の結果に見るも當然南邑民の主張が通るとし、邑民中には既行知何によつて事大的な當事者間に極めて一部の低級勢力に對する一般大衆の反撥感を惹起し、更に西鮮人間の問題として影響するところ大なる傾向あるにみて、この間の禍和策を見出すべく、某氏の如き私かに考究中であるとも傳へられてをり、或は今回の鑑定だけで問題は轉向し一部に解決點を見出すに至るのではないかとも見られる

慶興守備隊の新入兵

【羅南】慶興守備隊への今年新入兵四十五名は十四日入營の明和丸で羅南に上陸一泊の上任地に向ふ筈で當地慶興駐屯は明後日である

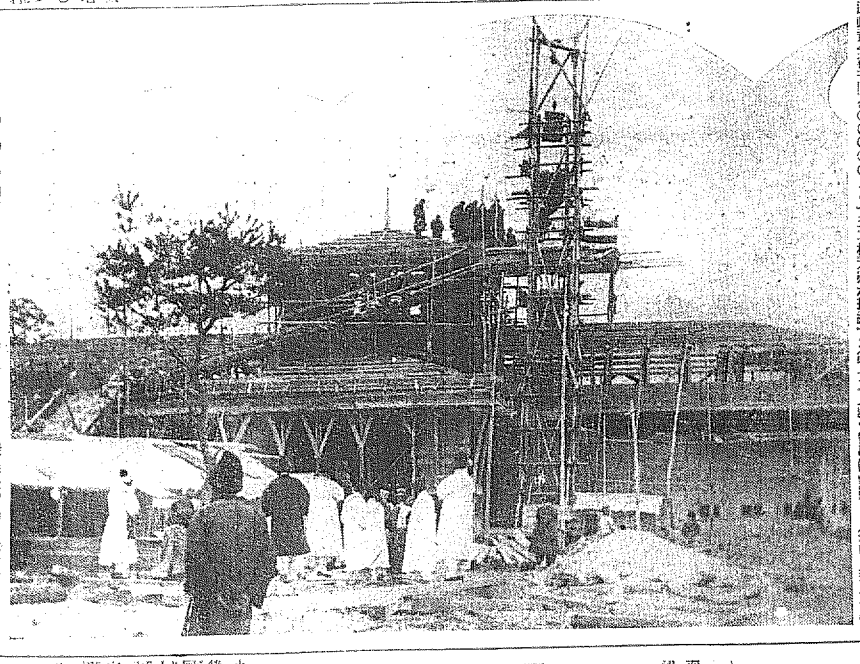
『赤』の大立物
元山署から
咸興に護送

【元山】曾つて咸北鏡城で共産黒一方の大立物として暴れに暴れてゐた元山暴力團の一味七名が、十日取調べ一段落なるため一時咸興署に護送された、なほ同地の共産黒大學を卒業後、産業組合の三千餘圓を横領したもの、三名は當局の調査で金額千圓以上の詐欺取財したもの、三名は元山暴力團の一味で、一味の者は、目下元山署に留置されてゐる

自動車と自轉車衝突
手足に重傷

【平壌】十日午前九時半府内大和町カフエーミカド前十字路で露町の自轉車と、三輪大八車が接觸する際七二八號

牡丹臺の博物館
十日上棟式を擧ぐ



平壌府牡丹臺の博物館は、阿部府尹、松井府會議長等の他官民有力者多數列席の上盛大なる上棟式を擧行し、終つて正午から福壽閣で盛宴を張つた（寫眞は上棟式）

定平農組事件
一味に判決
三年振りで結審し
五十八名悉く懲役

【咸興】足掛三年振りに結審した定平農組事件は、昨日咸興地方法院で、五十八名に係る控訴審は、下記の通り判決言渡しがあつた

▲懲役八年元資極▲同七年金泰烈、金弘植▲同六年李同善、韓鳳道、徐迎河、韓炳浩▲同五年金泰文、韓興雨、韓益鎬、朱斗基▲同三年金龍來、李鍾鎬、李洪燮、李泰水、金水斗、李鳳來、元貞鎬、李琪水、金聖壬、金潤海▲金相烈▲同二年六月池昌洋、韓禮福▲同二年金章植以下三十五名

會寧でも衝突

【會寧】八日午後一時半頃、…

通川警察懇談會

【通川】…

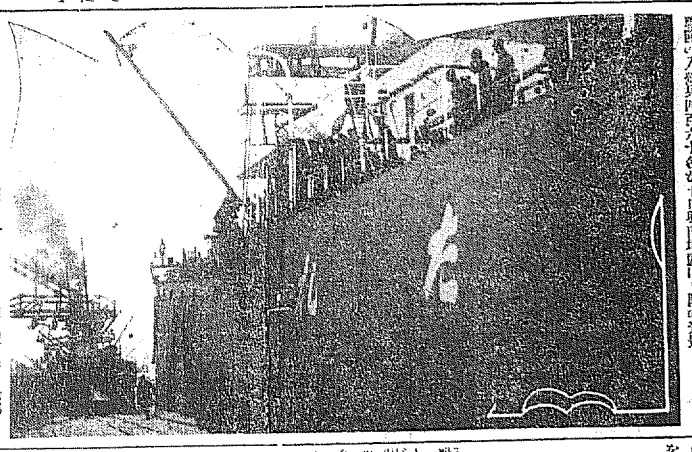
假裝した大刀會匪
十四道溝の警備陣偵察

【咸興】八日午後一時半…

物騒な師走の世相
強盜の内輪揉め
四年目に惡事がばれる
七人組の念入りな放火強盜
盜んだ廿三圓を一人で着服
定平署で三名逮捕

【咸興】七人組の…

新兵さんの上陸
始めて朝鮮の土を踏む咸興
入營兵四百六十名が十日興南鎮に上陸の光景



洗濯棒で
老爺の額に一撃
犯人は逸早く逃走
被害者瀕死の重傷

【咸興】…

棍棒で顔面亂打
籾の賣上代を狙ひ
二人の怪漢待伏せ

【大邱】…

淺墓な乙女心
歸りたさに放火
三回目には全燒
价川署に逮捕さる

【平壌】…

五年がゝりで
大金を横領
珍島海苔組合幹部
郡守が發見告發す

【光州】…

一人組の說教强盜
善州に現れ
二ケ所襲ふ

【新義州】…

江陵の火事

【江陵】…

細引で縛り
出刀庖丁で脅迫
寶城に二人組强盜
—借金させて强奪—

【光州】…

年增美人が
千二百圓の注文
キ印の娼妓と判り
咸興署ロアングリ

【咸興】…

六人組で
碑石泥棒
平壌署逮捕

【平壌】…

生活難で
汽車往生
細川驛附近で

【鎭山】…

市場火事の後始末

【清津】…

スキー座談會
咸興で開く

【咸興】…

九ケ面で
雉岳山造林
本府に申請

【羅州】…

一荒伯釜山
て講演

【釜山】…

胃腸强壮
榮養增進
エビオス

馬越藥學博士
橋谷農學博士指導
鑑製
專賣特許

胃腸を强化す
エビオスは胃腸の機能を盛んにし、强化せしめる。從て食慾は進み、食事は美味く、消化がよくなる。過多の胃酸は減少し、胃腸の消化吸收力が增大し便通が整つて來る。
胃弱、胃カタル、胃擴張、胃酸過多に適す

健康体を造る
豐富なる酵素及ヴイタミンにより諸器官の活動を高め、抵抗力、治癒力を養成する。故に身体各部の發達並に新陳代謝を旺盛にし、强力なる內臟、發刺たる筋肉、新鮮なる血液を新生し、病的組織を健康体に甦生せしめる。
虛弱者、衰弱者、疲勞し易き者、肺肋膜腺病質、慢性疾病、重病後の衰弱、精力減退に適す

發育を增進する
母乳分泌を旺盛にし發育素を絶へず補給するが故に乳幼兒の發育は勿論、胎兒の發育をも順當にし分娩を安全ならしめ、身体及腦組織の圓滿なる發達を遂げしむ。

一〇〇〇瓦（粉末）一圓七十錢
一〇〇〇錠（一錠〇.三五瓦）五圓五十錢
三五〇〇錠　二圓
七〇〇錠　五十錢
その他大小各種あり全國各壜店に販賣

發賣元　田邊五兵衛商店
大阪市東區道修町

EB330

的田雙六【15】

長谷川伸

藤井清

老乞食（五）

『これ、兩人』

珠之丞が、今までになく、いかつい調子でいった。

『は』

『は、ではない。只今、何といった？』

顔色の凄しい珠之丞の顔を見て源戸森太が、怒しさうに眼を瞬たいた。

『心をつけてもの云つて欲しい』

『は？』

『わたくしの名は只今國宮珠之丞女ではありませぬ』

といふ、末の言葉に、振つて女性の口調になつてゐたが、それに心づくほど、森太ももう一人の坂

『では、拙者の馬にて、あとを、したはれたい』

『行き違ふてはならぬから、ここにをらう』

『いや、ここには拙者が殘り、お見えになつたら申しあげるといたさう、なう菊兵衛』

『成程、それがいい』

珠之丞は、源戸森太の馬に跨り菊兵衛を跨ぐにともなひ、さきに菊兵衛もゆとりを持つてゐたかつた。

叱られて森太は苦い八つた顔をした。

『は。謹慎手萬でござつた。平に』

『以後、心づけてくれ』

『は』

『ここを動くまい、父上と濱名田一郎が馬が向つて行つた處を通り、鐙の跡がさう聞つてゐる。拙者の馬もついてまるつたのであらう』

宗城名物果醸糖

太刀馬が向つて行つた處を通つた。

『珠之丞殿、お見えにならぬが、不思議千萬でござるな』

それから大分になつた。

『何としてか、心がかりになつて来た』

『まさかに、この邊に例の曲者が出沒する筈はござらぬが、それにしても』

『鐙の跡が消えてから、もう二三丁になるのではないか』

『その位に成つてゐませう』

『鐙の跡が、あるぞ！』

『おゝ、成程』

『ここまでは、右手の草叢を過ぎられた、それ故跡がなかつたのだらう』

『おゾ、お珠様、ご感歎！』

『えゾ』

獵句を口にされても、すわとなれば昔めてなどはゐられない珠之丞だつた。顔がさゾと青白くなつた。

『左、左様でござる、先程、乞食を斷られた雑木の蔭にて、朝の獵れる音がいたしてござる』

『父上であらう』

『しかし、獵獲が獵一でござる。拙者が見届くゝる、先づそれまでは』

菊兵衛は突然に二十間余りの先の雑木林めがけ、馬を駆けさせた。

やがて雑木林の角で馬をとゞめた菊兵衛は、からゝく笑ひながら馬の頭を珠之丞に向けて、手を振げた。

と、間もなく、鹿宮大刀馬が、大きな顔に、笑みをうかべて、林の蔭から馬を飛ばせて現れた。

そのあとから濱名田一郎次と珠之丞の乘馬をあはせて御してゐる二郎次とが現れた。

『どこへ行つてゐた、心配かける奴じゃ、ハハハハ』

と大刀馬は胸をそらせて笑つた自分の馬に跨つて、今までの馬は菊兵衛にわたした珠之丞は、父の御心配は、男見らしく出來ない、御心づいて見張の酒盃に頂きつてゐた。

『父上、珠は、今日、試めし斬りいたしました。お叱りになとは成りはいたしませぬなあ』

『御覧ぜ？』

『ご覧でござりました』

大刀馬は、いいとも聞いとも云はなかつた。やがて、この一行が元の差樹の近く來た時、源戸森太が、さつきよりは一丁も手間で、鹿に乘まつて死んでゐた。

有効無線にて稲妻を問せる
マラリア特効丸
京城府元町壹丁目八十八
㊥林藥房
販賣店各地にあり

▲本紙に掲載の解しがあるが如何なる年でも歴年賞とするには

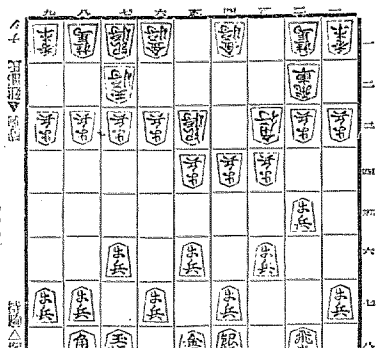
▲六月銀▲六四歩△六二銀▲五二金△五一銀右▲五二金左△五五歩▲同歩△同角▲同三金△六六歩▲同歩△五二銀▲六八角△六六歩▲同歩△六七銀▲五二銀△六五歩▲同歩△同飛▲同飛△同銀▲四五歩

（潜行呂木七段講評）（後手）六二銀上は、先に位を占有する方針である。蓋は六四歩と突き、六二銀の狙ひ。（先手）六六歩と突き、歩銀を延ばす。（後手）六四歩突き、六二銀の狙ひ。蓋は六四歩と突き、六二銀の狙ひ。（先手）六六歩と突き、歩銀を延ばす。（後手）四五歩突きも少々早い。蓋は七四歩と突き、六五歩が早く

將棋新手合（二）

（於東京市日本橋區蠣殼町二丁目　讀賣新聞社棋道部）

（第七二三）



先手番
▲四歩
▲二飛
▲四飛
▲二歩
▲四飛
▲二歩
▲四飛
▲二歩